



松村武夫
里山・里浜の快感

2025年12月16日〔火〕～2026年2月8日〔日〕

高松市塩江美術館
Shionoe Art Museum

開館時間：午前9時～午後5時 ＊入室は午後4時30分まで

休館日：月曜日（1月12日（月・祝日）は開館、1月13日（火）は休館） ＊年末年始 12月29日から1月3日

入館料：一般300円、大学生150円 ＊無料：高校生以下及び65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方、高松市キャンパスメンバーズ制度加盟大学等の学生

主催：高松市塩江美術館

図版《落ち葉》2024



《幸せな花 - No.1》2025



《島の頂》2025

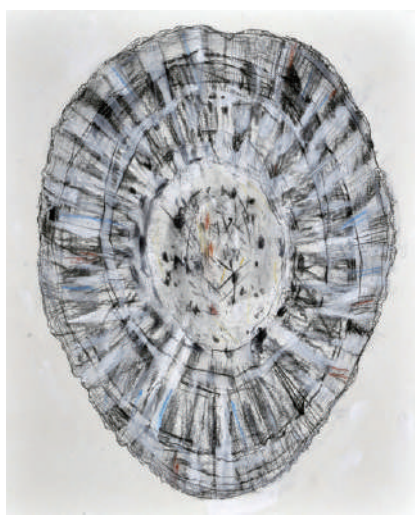
香川県在住の美術作家・松村武夫は、作家活動を行いながら、大学教授として美術教育に携わっています。

松村の作品の源泉は、身近にある〈自然〉です。「たとえば、散策の途中で海景をながめ、目にとまった落ち葉や貝殻などを手に取り、その美しい色や形に魅せられて足を止める。その時の光や風の質、周囲の音や匂いを記憶して多義的な体験となったその余情を、作品の素材となる物質と自己の身体とのやり取りを通して表現したい。」と、松村は制作への想いを語ります。

本展は、里山・里浜を歩いた時の感覚を主題に、ペンやインクなどによるドローイングと、アクリル・油彩の平面作品を中心に、素材や表現手法が異なる3種類の立体作品を加えた約40点で構成します。作品を通して、自然の一部である私たちの、身体的な感覚を再認識する機会になれば幸いです。



《葉の境界》2024



《一枚貝の殻》2025

略 歴

1959 年 生まれ、神奈川県出身

1987 年 東京藝術大学大学院美術研究科修了

1990 年 より香川県在住

主な受賞歴

2003 年 第18回国民文化祭「環境芸術の祭典」
山形県実行委員会会長賞

2005 年 第9回エイズチャリティー美術展
優秀作品賞

2006 年 第3回現代美術国際展ペルピニャン/フランス
金賞

個 展

1990 年 ルナミ画廊（東京）・不二画廊（大阪）

1991 年 ギャラリー+1（東京）・不二画廊（大阪）

1994 年 コバヤシ画廊（東京）

1998 年 Afro-Asiatisches Institut in Wien（ウィーン）

2020 年 高松市塩江美術館（香川）

その他

リール・グランパレ現代アートフェア、
アートエキスポ・ニューヨーク、
サロン・ドートンヌなどの展覧会に出品

ギャラリートーク 2026 年 1 月 24 日（土）

出品作家が自身の作品や制作などについて語ります。

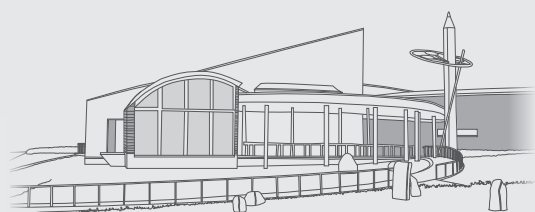
時 間：午後2時から（30分程度）

場 所：高松市塩江美術館 企画展示室内

対 象：一般

定 員：なし

参加料：無 料（ただし、展覧会観覧券が必要）



高松市塩江美術館

〒761-1611 香川県高松市塩江町安原 602 Tel 087-893-1800

交通手段

自動車

- ・高松中央 I.C または高松西 I.C より約 40 分
- ・脇町 I.C より約 25 分

公共交通機関

- ・JR 高松駅から約 80 分

飛行機

- ・高松空港よりタクシーで約 20 分

高松市塩江美術館
WEB

